

稼げる水田農業確立のための水稲品種の育成

【令和2～6年度】

研究内容① 省力・低コスト生産を可能とするうるち・もち品種の育成

主食用米の需要量は年々減少
一方で中食・外食消費の割合は増加



中食・外食で求められる価格帯でも生産者が供給できる（=低コスト生産可能）な米が必要



多収の実現（ヒノヒカリより3割多収）と防除回数削減に寄与する育種に取り組み、低コスト化を目指す



研究内容② 加工・醸造適性に優れた酒米品種の育成

特定名称酒 は堅調に推移
製品当たりの米の使用量が多い吟醸酒、純米酒等



高度搗精に向く酒米品種が求められている



特定名称酒用の加工・醸造適性についてより具体的に評価

